

がん教育の研究と実践

2023.6.30

杉崎 弘周
(新潟医療福祉大学)

1. この講義を構成する資料等及び動画の著作物（以降、本教材と略記）は、本研修会での教育利用に限定して公開しています（受講者限定の教材利用）。そのため、他の目的での利用はできません。
2. 本教材に関する著作権及びその他の知的財産権は新潟医療福祉大学の杉崎弘周に帰属します。ただし、内容の一部に、他の原著者が著作権を所有しているものが含まれます。その著作権は、著作権法により保護されています。
3. 事前の書面による著作権者の許諾無しに、本教材の複製（保存）・出版・翻訳・譲渡・転載・配信・売買等の一切をできないものとします。また、派生的制作物の作成等も同様とします。
4. 本教材の利用にあたっては、上記の注意事項に同意したものとみなします。

一人でやってみましょう

コップの水が半分 **続きは何が入る？**



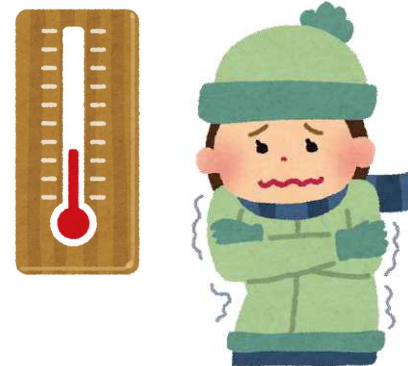
対象によって無意識に変わる？

本日の流れ

- 1 がん教育の背景
- 2 がん教育の実践に当たって
- 3 新潟県独自の実践
- 4 授業の事例

一人でやってみましょう

気温が摂氏0度になると
何がどうなる？



対象は変わらずどちらからみるか？

アイスブレイクの役割

先生と一緒に

- ・考える
- ・手をあげる
- ・見せ合う
- ・話し合う



アイスブレイクの有効活用を！

本日の流れ

- 1 がん教育の背景
- 2 がん教育の実践に当たって
- 3 新潟県独自の実践
- 4 授業の事例

なぜいまがん教育なのか

がんは専門的
内容が多い

学校では何をどこ
まで教えれば...

親をがんで亡く
した生徒がクラ
スにいるが...

そもそも学校でがん
教育は必要なの？



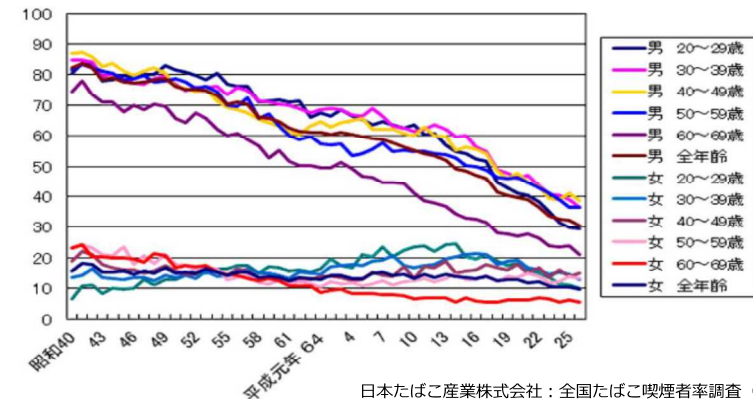
このような疑問に
こたえられるように進めたいと思います

植田誠治, 物部博文, 杉崎弘周 (2018) 『学校におけるがん教育の考え方・進め方』大修館書店より

なぜいまがん教育なのか

成人喫煙率 (日本たばこ産業株式会社 : 全国たばこ喫煙者率調査)

(別紙 3-2)



日本たばこ産業株式会社 : 全国たばこ喫煙者率調査 (2014年)

喫煙率の低下に保健授業が寄与？
ならば、がん予防でも教育の効果을期待

植田誠治, 物部博文, 杉崎弘周 (2018) 『学校におけるがん教育の考え方・進め方』大修館書店より

国内のがん教育に関する動き

2012年～

厚生労働省「がん対策推進基本計画（第2・3期）」

2014年

（公財）日本学校保健会 がんの教育に関する検討委員会

2014年～

文部科学省「がん教育」の在り方に関する検討会

2014年～

文部科学省 がん教育総合支援事業

2020年～

次期学習指導要領でのがん教育の充実等

小学校「たばこの害としてのがん」

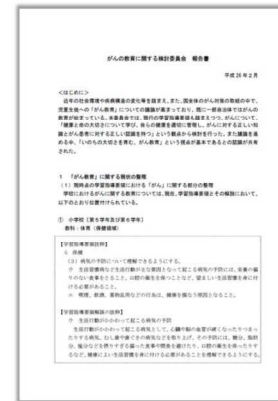
中学校「がんについての取りあげること」

高等学校「がんについて充実」

国内のがん教育に関する動き

がんの教育に関する検討委員会 報告書

（公財）日本学校保健会2014年2月



「がん教育」の目標

1) がんに関して正しく理解できるようにする

がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切な対処について理解できるようにする。

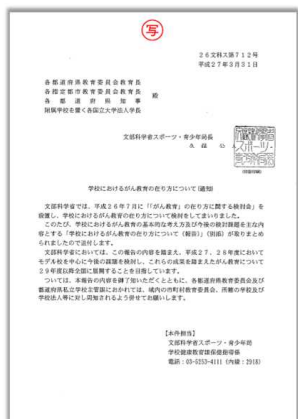
2) いのちの大切さについて考える態度を育成する

がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々を通じて、自他のいのちの大切さを知り、自己のあり方や生き方を考える態度を育成する。

国内のがん教育に関する動き

学校におけるがん教育の在り方について（報告）

文部科学省 2015年3月



「がん教育」の目標

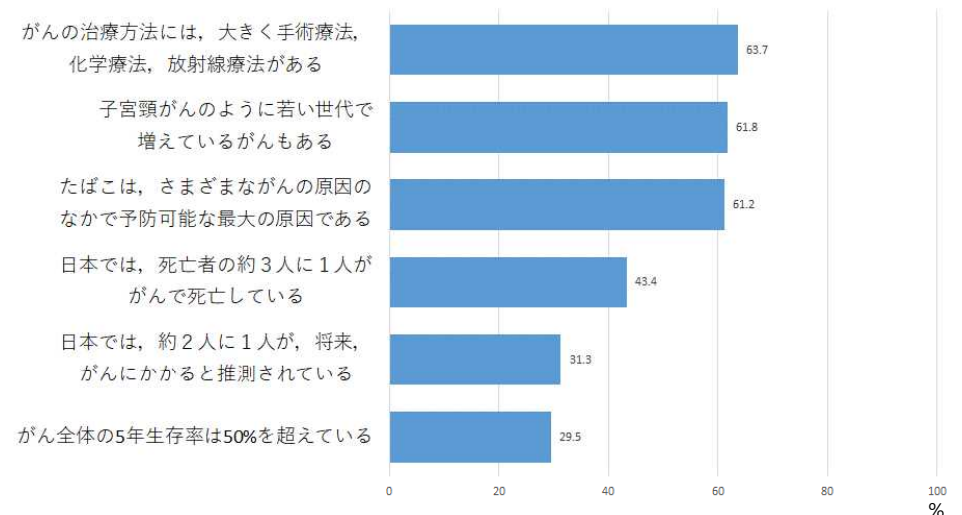
①がんについて正しく理解することができるようにする

がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心を持ち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資する。

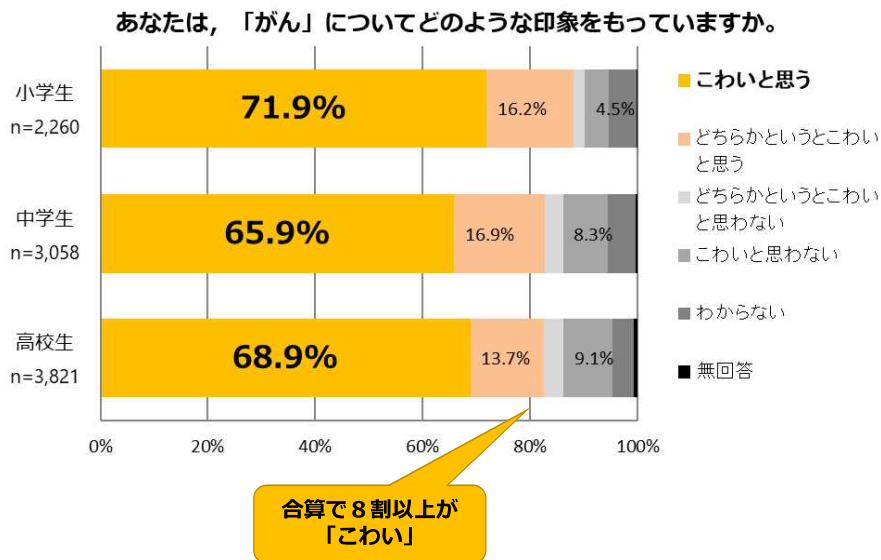
②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

がんについて学ぶことや、がんと向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気づき、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成する。

がんに対する知識



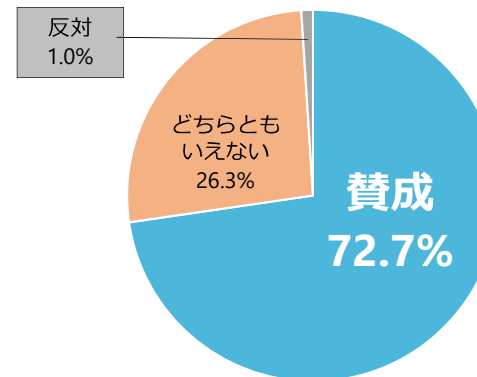
児童生徒のがんに対する意識



植田誠治ほか, 日本の児童生徒のがんについての意識の実態, 学校保健研究56: 185-198.2014

保護者はどう思っている？

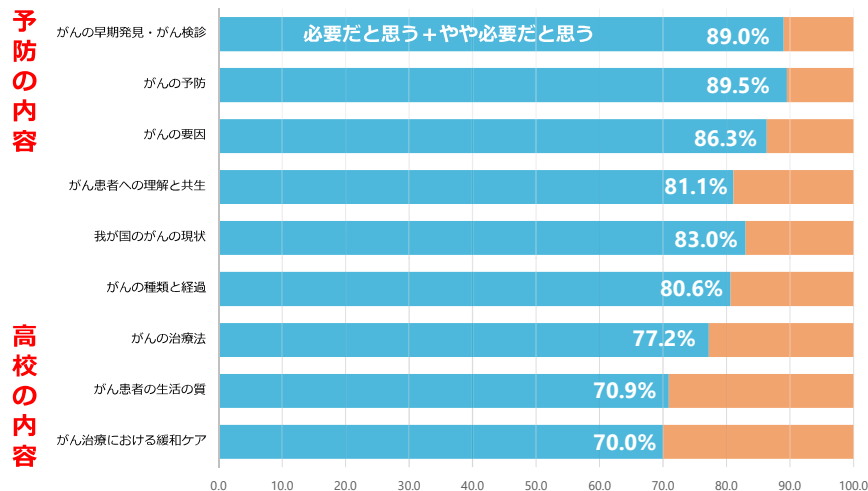
あなたは学校でがん教育が行われることに賛成ですか。もしくは反対ですか。(n=2,417)



杉崎弘周, 学校におけるがん教育に対する保護者の態度, 日本小児科学会雑誌 123巻9号1433-1435. 2019

保護者はどう思っている？

がん教育の内容についての必要度 (N=2,417)



杉崎弘周, 学校におけるがん教育に対する保護者の態度, 日本小児科学会雑誌 123巻9号1433-1435. 2019

日本人のがん罹患の原因

原因	男性 (%)	女性 (%)
	29.7	5.0
	0.2	1.2
	22.8	17.5
	9.0	2.5
	1.9	1.2
	0.8	1.6
	0.7	0.8
	0.7	0.4
	0.3	0.6
外因性ホルモン使用		0.4
合計 (調整)	53.3	27.8

Inoue M, et al. Ann Oncol 23. 2012より

ウイルス・感染症・寄生虫と発がんの関連

病原体	がん
B型およびC型肝炎ウイルス	肝細胞がん
ヒトパピローマウイルス (HPV)	子宮頸がん
ヒトTリンパ球性ウイルス	成人T細胞白血病
エプスタイン・バー (EB) ウイルス	バーキット・リンパ腫, 鼻咽頭がん
ヘリコバクター・ピロリ (細菌)	胃がん
住血吸中症 (寄生虫)	膀胱がん
肝吸虫症 (寄生虫)	胆管がん

今、わたしたちにできること

喫煙・受動喫煙・飲酒・食事（野菜不足、脂肪のとりすぎなど）・運動不足など

細菌・ウイルス

生活習慣

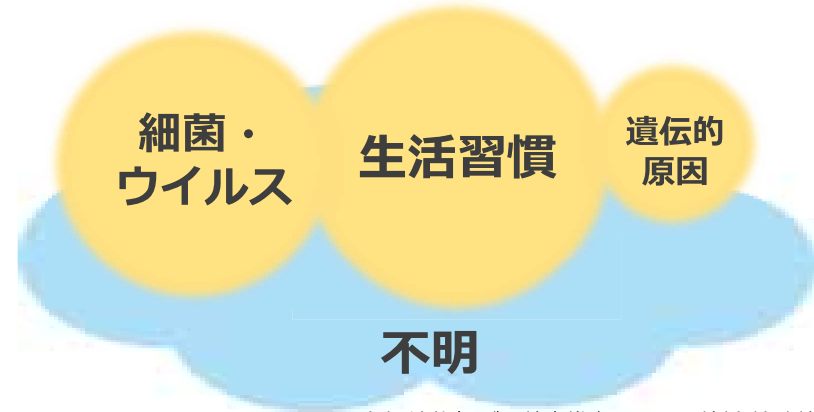
遺伝的原因

今、自分にできることを心がけることが大切

文部科学省 がん教育推進のための教材 補助教材より

がんの原因

がんには原因のわかっているものとわからないものがある



文部科学省 がん教育推進のための教材 補助教材より

小・中での授業実践から

喫煙・受動喫煙・飲酒・食事（野菜不足、脂肪のとりすぎなど）・運動不足など



この内容を授業でどう扱ったか？

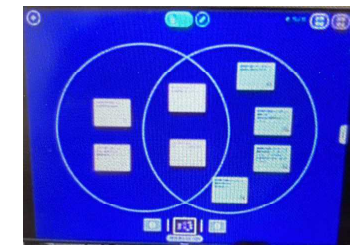
【小学校】

どんな生活をしているとがんになると思いますか？
(お酒・たばこ以外で)



【中学校】

今すぐ取り組むこと：左
将来取り組むこと：右
共通すること：真ん中



高校でのワークシートの例

がんを防ぐための新12か条（2011年）とはどれだろう？ □してみよう。

<input type="checkbox"/> たばこは吸わない	<input type="checkbox"/> 適度に運動
<input type="checkbox"/> 他人のたばこの煙を避ける	<input type="checkbox"/> 適切な体重管理
<input type="checkbox"/> お酒はほどほどに	<input type="checkbox"/> 焦げた部分はさける
<input type="checkbox"/> 毎日、変化のある食生活を	<input type="checkbox"/> かびの生えたものに注意
<input type="checkbox"/> バランスの取れた食生活を	<input type="checkbox"/> 日光に当たりすぎない
<input type="checkbox"/> 食べすぎをさけ、脂肪はひかえめに	<input type="checkbox"/> ウイルスや細菌の感染予防と治療
<input type="checkbox"/> 塩辛い食品はひかえめに	<input type="checkbox"/> 定期的ながん検診を
<input type="checkbox"/> 食べ物から適量のビタミンと繊維質のものを多くとる	<input type="checkbox"/> 体を清潔に
<input type="checkbox"/> 野菜や果物は不足にならないように	<input type="checkbox"/> 身体の異常に気がいたら、すぐに検診を
<input type="checkbox"/> 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから	<input type="checkbox"/> 正しいがん情報でがんを知ることから

新潟江南高校 間健太郎教諭の授業実践より

高校でのワークシートの例

がんについてわかっていること

	肺がん	肝がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
喫煙						
飲酒						
肥満						
運動						
感染						

【選択肢①】

- ◎：要因として確実
- ：要因としてほぼ確実
- △：要因として可能性

【選択肢②】

- ↑：がんになるリスクを上げる
- ↓：がんになるリスクを下げる

新潟江南高校 間教諭の授業実践より

がんに関する要因の科学的根拠の信頼性の強さ

	肺がん	肝がん	胃がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
喫煙	↑ 確実	↑ 確実	↑ 確実	↑ 確実	↑ 可能性	↑ 確実
飲酒		↑ 確実		↑ 確実		
肥満		↑ 確実		↑ ほぼ確実	↑ 確実 (閉経後)	
運動				↓ ほぼ確実	↓ 可能性	
感染	↑ 可能性 (肺結核)	↑ 確実 (肝炎)	↑ 確実 (Hピロリ)			↑ 確実 (HPV)
治療 ワクチ		↓ 確実 (肝炎治療)	↓ 確実 (ピロリ 菌治療)			↓ 確実 (HPVワクチ)

喫煙、飲酒 = 全がん ↑ 確実
 野菜、果物 = 食道がん ↓ 確実
 コーヒー = 肝がん ↓ ほぼ確実
 受動喫煙 = 肺がん ↑ 確実
 熱い飲食物 = 食道がん ↑ ほぼ確実
 食塩 = 胃がん ↑ ほぼ確実

科学的根拠に基づくがんリスク評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究
https://epi.ncc.go.jp/files/02_can_prev/matrix_150819JP.pdfを改変して作成

がん検診の受診率

年々、順調に
上昇している

[男女別がん検診受診率(40~69歳)の推移]

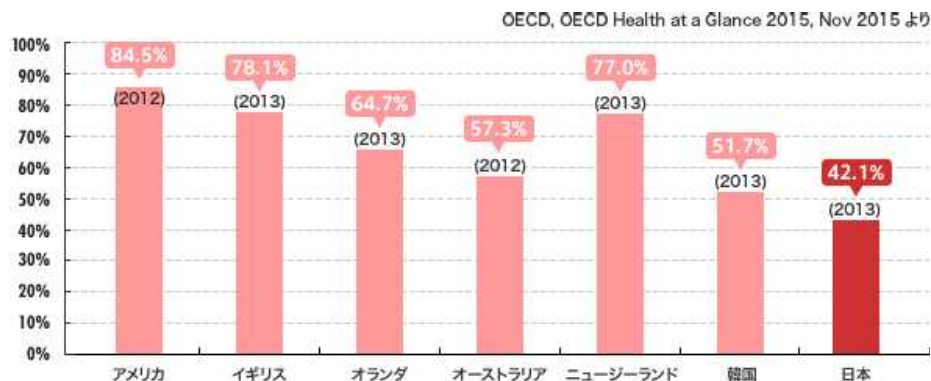
出典：平成28年国民生活基礎調査 ※2016年は熊本県は含まない



日本対がん協会 (2019) 「男女別がん検診受診率 (40~69歳) の推移」
https://www.jcancer.jp/about_cancer_and_checkup/がん検診の推進

がん検診の受診率

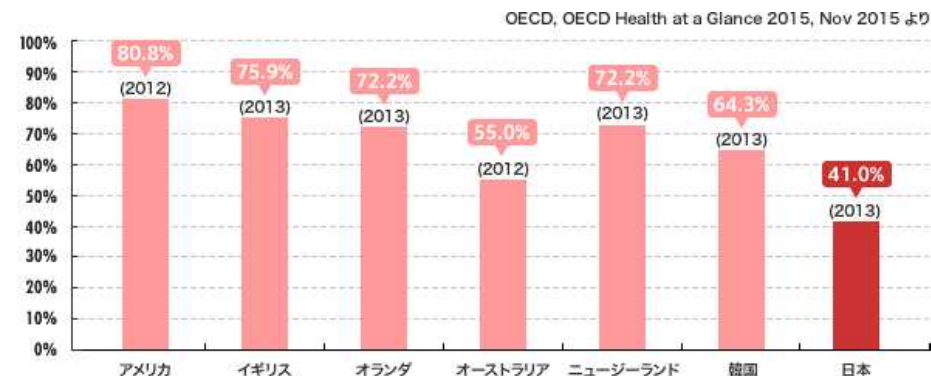
女性の子宮頸がん検診受信割合（20歳から69歳）



厚生労働省 平成30年度がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーンより
https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_30/index.html

がん検診の受診率

女性の乳がん検診受信割合（50歳から69歳）



厚生労働省 平成30年度がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーンより
https://www.gankenshin50.mhlw.go.jp/campaign_30/index.html

がん検診の推奨年齢

がん検診の推奨年齢

- 胃がん 50歳以上 隔年
- 肺がん 40歳以上 毎年
- 大腸がん 40歳以上 毎年

- 子宮頸がん 20歳以上 隔年
- 乳がん 40歳以上 隔年

※それぞれ問診とX線検査などを組合せて実施

がん検診の効果

「厚生労働省研究班によるがん検診の有効性評価」

死亡率減少効果に「十分な」根拠：
子宮頸がん（細胞診）
乳がん（視触診とマンモグラフィの併用）
大腸がん検診（便潜血検査）

死亡率減少効果に「相応」の根拠：
胃がん健診（胃X線検査）
乳がん検診（視触診とマンモグラフィの併用，40代）
肺がん検診（胸部X線と喀痰細胞診の併用）
肝がん検診（肝炎ウイルス検査，罹患減少効果）

本日の流れ

- 1 がん教育の背景
- 2 がん教育の実践に当たって
- 3 新潟県独自の実践
- 4 授業の事例

以前の保健の教科書では

小学校

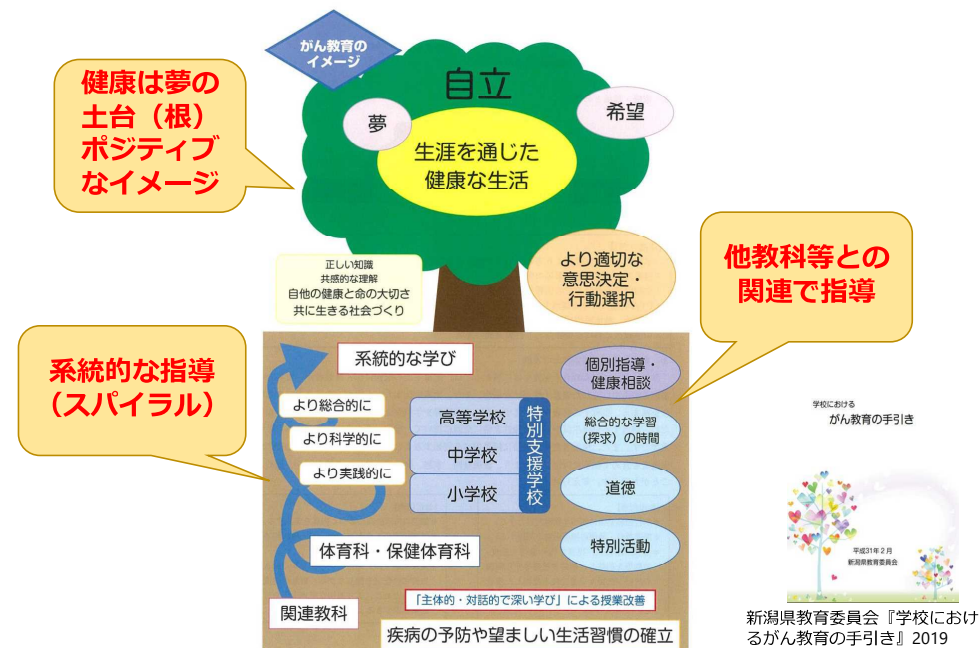
6年生「病気の予防」

喫煙と肺がん

◆教科書では？

発展的な内容でがんを詳しく紹介

がん教育イメージ



現行の学習指導要領解説では

小学校「病気の予防」

(I) 喫煙，飲酒，薬物乱用と健康

「喫煙を長い間続けるとがんや心臓病などの病気にかかりやすくなるなどの影響があることに触れるようにする」

現行では「肺がんや心臓病などの病気」

以前の保健の教科書では

中学校

3年生「健康な生活と疾病の予防」

喫煙とがん

◆教科書では？

日本人の死因の推移

生活習慣病とその予防

現行の学習指導要領解説では

中学校「健康な生活と疾病の予防」

(1) **がんの予防**

「がんは異常な細胞であるがん細胞が増殖する病気であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。また、がんの予防は、生活習慣の予防と同時に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。」

「またなお、この内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする」

以前：3年生で ➡ 現行：2年生で取り扱う

以前の保健の教科書では

高等学校

1年生「現代社会と健康」

健康の保持増進と疾病の予防

悪性新生物、生活行動との関係

◆教科書では？

がんの症状、発病の予防と早期発見・早期治療について

現行の学習指導要領解説では

高等学校「現代社会と健康」

(ウ) 生活習慣病などの予防と回復

「**がん**、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などの**リスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続ける**ことが必要であること、定期的な**健康診断**や**がん検診**などを受診することが必要であることを理解できるようにする。」

「その際、**がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もある**ことについて理解できるようにする。**がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であること**について適宜触れるようにする。」

「また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、**健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策**が必要であることを理解できるようにする。」

がん教育で配慮が必要な事項

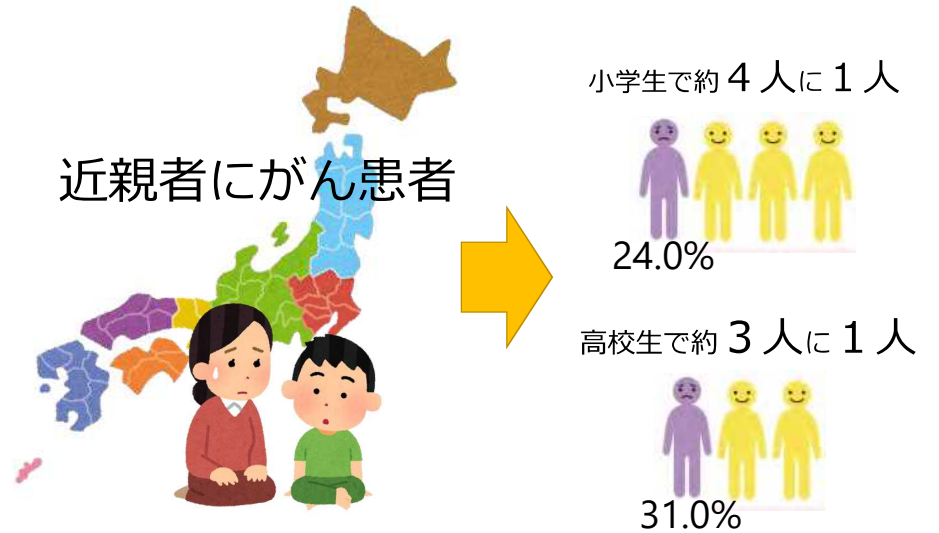
- ・近年、親にがん患者のいる18歳未満の数は推定値で約87,000人
- ・親ががんと診断された子供の平均年齢は11.2歳
- ・近親者にがん経験者のいる児童生徒は全国調査で約3割



- 小児がんの当事者あるいは小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合
- 家族にがん患者がいる児童生徒や家族をがんで亡くした児童生徒がいる場合
- 生活習慣が主な原因とならないがんもあることから特にこれらのがん患者が身近にいる場合
- がんに限らず重病・難病等にかかったことのある児童生徒等や家族に該当患者がいたり家族を亡くしたりした児童生徒等がいる場合

杉崎弘周「がん教育で配慮が必要な事項」『学校保健ハンドブック題7次改訂』2019：152

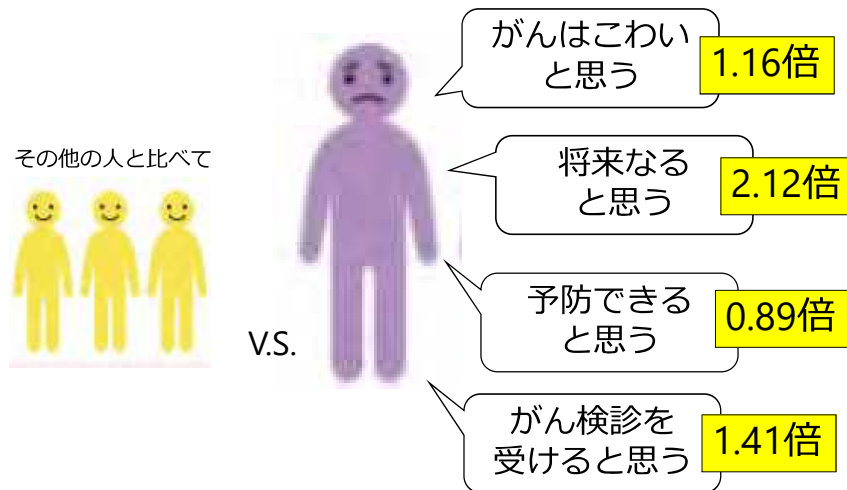
近親者にがん患者のいる割合は？



Sugisaki K, et al. Cancer Awareness and Understanding of Students in Japan: What Do Students Having Close Relatives with Cancer Think About the Disease? Journal of Cancer Education 36:92-99. 2021

がんに対して一部消極的な意識

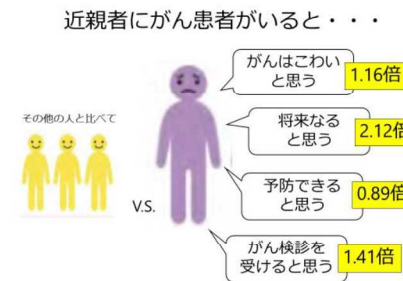
近親者にがん患者がいると・・・



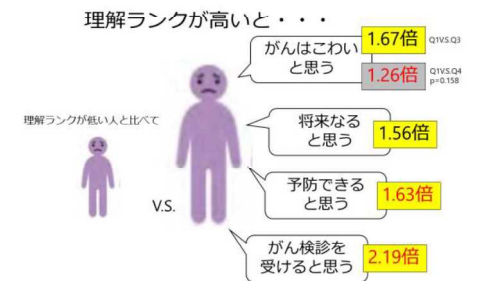
Sugisaki K, et al. Cancer Awareness and Understanding of Students in Japan: What Do Students Having Close Relatives with Cancer Think About the Disease? Journal of Cancer Education 36:92-99. 2021

がん教育の可能性は

がんに対して一部消極的な意識



理解ランクで改善される可能性？



「近親者にがん患者」の意識を把握



教育で消極的な意識が改善される可能性？

Sugisaki K, et al. Cancer Awareness and Understanding of Students in Japan: What Do Students Having Close Relatives with Cancer Think About the Disease? Journal of Cancer Education 36:92-99. 2021

がん教育で配慮が必要な事項

保護者の皆様

〇〇年 〇月 〇日

〇〇中学校
校長 〇〇 〇〇

がん教育の授業の実施について

〇〇の候、保護者の皆様には、ますます御清栄のことと存じます。日頃より、当校の教育活動に御協力、御支援をいただき感謝申し上げます。

文部科学省では、がん教育について、がんは日本人の死亡原因として最も多く、生涯のうち国民の二人に一人はがんにかかるかと推測され、国の重要な健康課題であり、国民が身に付けておくべきものとしています。また、がん対策基本法の下、政府が策定したがん対策基本計画においても、子供に対し健康と命の大切さや自己管理、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識をもつよう教育することを旨とし、学校教育の中でがん教育を実施するとしています。

そこで、当校では以下のように、がん教育の授業を計画しています。一人一人が、限りある命を精一杯輝かせて、他者とかかわりあいながら生きていく喜びを感じ、主体的に自他の健康で安全な生活を送ることができると期待する生徒の育成を目指しています。

つきましては、心配なことや配慮してほしいことがありましたら、いつでも、担任又は、養護教諭（電話 〇〇〇-〇〇〇〇）まで御連絡ください。よろしくお願いたします。

記

1	ねらい	がんに興味・関心を持つとともに、がんの予防や早期発見について正しい知識を身に付ける。
2	日時	〇月〇日 ~ 〇月〇日
3	授業者	各担任
4	内容	・がんを正しく知ろう。 ・がんと向き合って生きていくために、自分ができることを考えよう。

・保護者と生徒への告知

・質問や心配事は事前に解決しておく

・実施時期の変更
・事例の一般化
・個別対応の把握

・受けなくてもよい
・途中退出の自由
・別室の確保やケア

杉崎弘周「がん教育で配慮が必要な事項」
『学校保健ハンドブック題7次改訂』2019：152

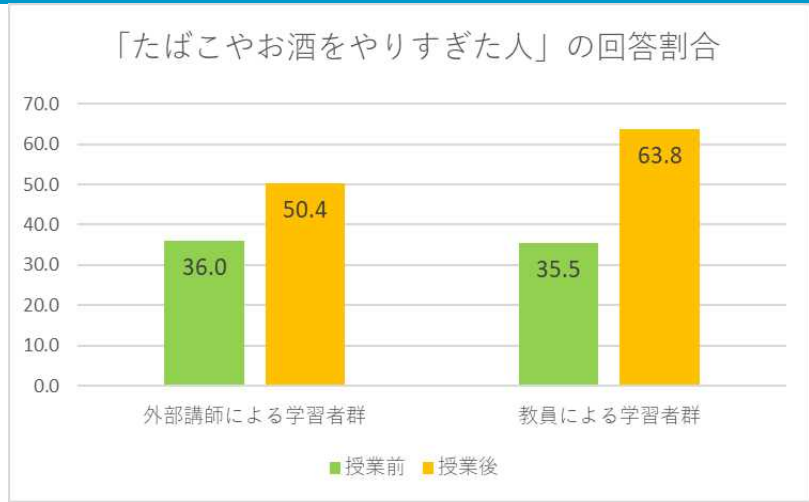
新潟県教育委員会『学校におけるがん教育の手引き』2019

外部講師による指導

- 体育・保健体育科はもちろん、道徳、特別活動、総合的な学習の時間などで外部講師と連携して展開
→ 核となる教員だけでなく、すべての教職員の共通理解で
- 地域の実情に応じて、学校医、看護師、保健師、がん経験者等を外部講師として活用
→ 「がんは不治の病である」、「がんは簡単に治せる」、「がんにかかるか否かは本人自身の行いによる」「がんは他人にうつる病気である」など科学的根拠に基づかない情報や誤解を与える情報を取り扱うことは不適切
- 健康や命の大切さをねらいとする場合には、がん患者やがん経験者による指導が効果的
→ 怖さや辛さのみを強調するのではなく、がんにかかったことで健康や命の大切さに気が付いたこと、充実した人生を送っていることなど肯定的なメッセージとなるよう構成に配慮

杉崎弘周「がん教育で配慮が必要な事項」『学校保健ハンドブック題7次改訂』2019：153

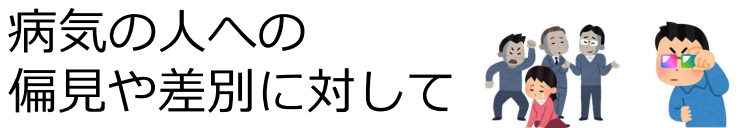
ゲストティーチャーと教員のがん教育



- ・授業後に「たばこやお酒=がん」となってしまう？
- ・ゲストティーチャーではないと急上昇？

Yako-Suketomo H, et al. Children's Knowledge of Cancer Prevention and Perceptions of Cancer Patients: Comparison Before and After Cancer Education with the Presence of Visiting Lecturer -Guided Class. Journal of Cancer Education 34: 1059-1066, 2019

保健を学ぶ意味の再確認を



病気の人への
偏見や差別に対して

「差別は絶対に許されない」ことは当然として

保健（教育）の立場から何が出来るか？

➡ **病気のリスクの概念から**

がん≠たばこやお酒の場合 糖尿病≠生活習慣の場合
新型コロナウイルスを含む感染症の場合

正しく理解させ、正しい知識を身に付けさせる

リスクは軽減は科学的根拠にもとづいた予防

各教科等の特質に応じた見方・考え方

保健の見方・考え方（文部科学省，2016）

疾病や傷害を防止するとともに，生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ，「個人及び社会生活における課題や情報を，健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え，**疾病等のリスク**の軽減や生活の質の向上，健康を支える環境づくりと関連付けること」であると考えられる。

本日の流れ

- 1 がん教育の背景
- 2 がん教育の実践に当たって
- 3 **新潟県独自の実践**
- 4 授業の事例

各教科等の特質に応じた見方・考え方

「どのような視点で物事をとらえ，どのような考え方で思考していくのか」という各教科等ならではのもの，各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものである

見方 = 物事を捉える視点

（教科等で身に付ける特有の知識・技能）

考え方 = 思考の進め方や方向性

（教科ならではの認識や思考，表現）

保健の見方・考え方を意識してみてください

新潟独自の実践

新潟に所縁のあるがん経験者によるメッセージ

2019年度

早川 史哉 選手（プロサッカー選手）



2020年度

伊勢 みずほ さん（フリーアナウンサー）

2021年度

今井美穂さん（モデル・タレント）



- ・新潟県民にとって身近な存在
- ・がんを克服して活躍中
- ・家庭で話題になる
- ・がんについての授業を思い出す



中学校での実践

早川史哉選手（アルビレックス新潟）によるメッセージ動画

- ・だれにでもがんになる可能性はある
- ・復帰しておりがんは不治の病ではない



「支え」や「目標」によって克服できたというメッセージ

杉崎弘周「がん教育をテーマとした中学校での実践(1)(2)」体育科教育2020年8月号, 9月号

小学校での実践



がんについての授業の最後に
がん予防のメッセージ動画を視聴
「亀代小学校のみなさん!
会えるのを楽しみにしています!」



授業当日にチラシを持ち帰る



家庭で話題になることに期待



テレビをみることを期待



伊勢さんをみると授業を思い出し話
題になることを期待

杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

がんについての授業・メッセージ動画の視聴

チラシの配付



家の人と話した内容 (n=36)

動画メッセージをくれたこと	: 47.2%
次週に来てくれること	: 86.1%
がんについてのこと	: 47.2%

がんについての講演



家の人と話した内容 (n=36)

来てくれたこと	: 72.2%
お話をしてくれたこと	: 69.4%
がんについてのこと	: 72.2%

「家族との会話」は中学生のがん検診受診意図の関連要因

Sさん（女子児童）の授業前後の変化

がんについての印象

こわいと思う→こわいと思う

がんは治療で治ると思いますか

わからない→治ると思う

がんの検診を受けようと思いますか

受けようと思わない→受けようと思う



杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

Sさん（女子児童）の授業後の感想

20年後の自分に対して、どんな言葉をかけたいですか

「がんは見つかりにくい病気だから健康でも安心せずがん検診を受けてみてほしい！」という言葉をかけたいです。今、このお話を聞いて大人になるまで覚えておけるか心配だけど、このお話を忘れずに覚えて、思い出してほしいです。



杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

Sさん（女子児童）の保護者のメッセージ

お子さんの言葉を読んでメッセージをお願いします

「がんは早期に見つけることができれば治る病気です。がん検診は早期に見つけて治療するためにとっても大切だよね！Sが大人になる頃には医学がもっと進歩していると思います。今のよう規則正しい生活を心がけて健康に年を重ねていこうね！ママもがん検診を受けてみたいと思いました。



杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

高校での実践

今井美穂

モデル・タレント

新潟県見附市出身。
TV・ラジオ・CM・イベント等、
各種メディアで活動中。
県内企業の商品開発や農業PRなど
新潟に根ざした活動も行っている。



高校を対象とした内容

- ・若くても、だれにでもがんになる→**がん検診の重要性**
- ・周囲の支え→**支えてもらうこと・支えること**
- ・現在の様子→**がん経験者の現在の生活**

高校での実践



高校を対象とした内容

がん教育と関連させて特別活動「生き方」の講話
→ご自身のキャリアをがんの経験も含めて

今井さんの入場の前にもう一度動画を上映

がんについての授業（科目保健）
メッセージ動画の視聴



生徒からの質問集約



外部講師にお伝え



外部講師の講演（キャリア教育）



生徒主導で質疑応答コーナー



講話後の生徒の感想から

講演会にて、癌の話を聞きました。やはり、**実際癌になった人から言われると、言葉の重みが違い、**自分も癌にならないためにはどのようなことをしたら良いのか、癌をどうやって対策したら良いのかなど、この機会を通し、更に深く考えることができた時間だったと思いました。

先日は巻総合高校へ来て頂きありがとうございました。今井さんのお話を聞いて、**がんの人へに対する考え方が変わりました。他人事じゃないのだと改めて思いました。**とても充実した講演です。一時間という短い時間でしたが、とても楽しかったです。本当にありがとうございました。

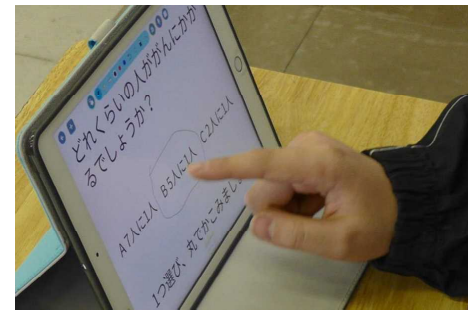
今井さんへ たばこも吸っていなかったのに、急にがんになることがあることを知って自分も、もしかしたら、そうなるのではないかなって思いました。今井さんの話を聞く前は、**たばこや酒など、をたくさんやっている人だけだと思っていましたが、そうではないことを知って勉強になり、**受けられる年齢になったら、受けに行こうと思います

本日の流れ

- 1 がん教育の背景
- 2 がん教育の実践に当たって
- 3 新潟県独自の実践
- 4 **授業の事例**

ICTを活用したがん教育

小学校のがん教育において、動画メッセージの活用に加えて、ICTの活用した事例を紹介します。



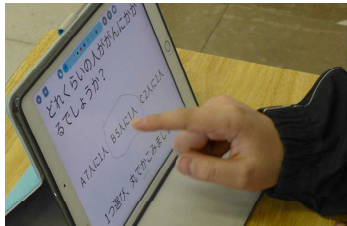
一人一人が回答
(アンケート機能は使わない)

グループの画面を共有

聖籠町立亀代小学校(2020)

ICTを活用したがん教育

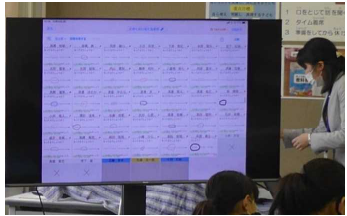
導入でのがんクイズの実施と即時集計



どのくらいの方が
がんにかかるでしょうか？

- A 7人に1人
- B 5人に1人
- C 2人に1人

最初の案では日本人の
死因の1位は？
→「がん教育」とわかって
いるので変更



画面の一覧表示
(グラフより見づらいが、回答
を残せて教師が把握できる)

聖龍町立亀代小学校(2020)

杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

ICTを活用したがん教育

資料を簡単に送って手元で確認



大画面テレビで説明
→このときは画面に集中



「タブレットを出してください」
「資料を送ります」
→細かな数値などもわかりやすい

聖龍町立亀代小学校(2020)

杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

ICTを活用したがん教育

紙とタブレットPCの併用



紙のワークシートに
自分の考えなどを記入
【個人作業】

タブレットPCに
意見を出し合ってまとめる
【グループ活動】

聖龍町立亀代小学校(2020)

杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

ICTを活用したがん教育

黒板と大画面テレビの併用



黒板には画面に映した資料
子供の考え、まとめなど
→最後まで残る



大画面テレビに説明資料や
各グループの画面を共有
→多くの資料、アニメーション、
動画などを使用可能

聖龍町立亀代小学校(2020)

杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

導入でのがんクイズの実施と即時集計

≡ 挙手と座席カルテ

資料を簡単に送って手元で確認

≡ 配付資料と拡大資料

紙とタブレットPCの併用

≡ ワークシートと模造紙（orホワイトボード）

黒板と大画面テレビの併用

≡ 黒板と視聴覚教材

がん教育では即時活用が可能で親和性も高い

杉崎弘周「がん教育をテーマとした小学校での実践(1)(2)」体育科教育2021年4月号, 5月号

- 1 がん教育の背景
 - ・ 国のがん教育の動き
 - ・ 小・中・高で系統的に実施
- 2 がん教育の実践に当たって
 - ・ 必要な配慮
 - ・ 近親者にがん患者のいる子供
 - ・ リスク概念について
- 3 新潟県独自の実践
 - ・ がん経験者のメッセージ動画
 - ・ だれでもかかる可能性
 - ・ テレビで見ると学んだことを思い出す
- 4 授業の事例
 - ・ 学級担任と養護教諭のT.T
 - ・ ICTの活用；がん教育との高い親和性